

水道事業関連労働者組織化(第一環境株式会社 大宮・上本町営業所)の取り組みについて(4/22)

組合結成される!!

第一環境大阪営業所労働組合

当局がメーター点検・計量・未納整理などの業務を委託している第一環境株式会社(大宮営業所・上本町営業所)に働く正社員によって「第一環境大阪営業所労働組合」が組織され、4月22日、大阪市内で結成大会が行われた。

昨年来、大阪水労は産別中央本部の「水道関連労働者の組織化」の方針のもと、近畿東海地方本部と連携をはかりながら、メーター検針員(非正規)の組織化を模索してきた。その過程で正規社員である点検・未納の職員から労働組合を結成したいとの相談が持

ちかけられ、本年1月に賛同者により設立準備委員会が発足、アドバイザーとして大阪水労も参加し、賛同者の拡大、規約・活動方針の作成などに共に取り組み、結果として、25人の正社員によって組合がスタートする事に至った。

結成大会へは、近畿東海地本森本書記長、大阪水労中村委員長も参加し、組合結成を見届けた。中村委員長は、「市民に生命の水を届ける水道事業の一端を担って頂いている皆様方と力を合せながら、仕事に励める労働条件が確保されますように、我々もまた側面からサポートしていきたい」と歓迎のあいさつをした。また、森本地本書記長は、「点検は非常に重要な仕事であり、水道事業の根幹をなす仕事である。質の高い公共サービスを維持する為に、いったい何が必要なのかを考えると、やはり質の高い労働環境を維持する事が重要である。労働条件の維持向上と一緒に活動していきましょう」と連帯のあいさつをした。

「第一環境大阪営業所労働組合」の初代執行委員長に就任された辻裕介さんは、「私たちがめざすものは、同じ職場で働く人たちが楽しみながら、安心して仕事ができ、特にみんなが活気づくような職場を作っていくというようなものになっています。この水道業界、第一環境で仕事をしていく事や将来に対して皆さんが持つ、ひとつずつの不安を取り除いていく事が出来る様な組織になりたいと思っていますので全員で力をわせて頑張ってください」と、結成の決意を述べられた。

今後、第一環境大阪営業所労働組合は、結成を契機として、検針員の組織化をはかりながら組織拡大に取り組み、早い段階で正式に全水道・連合加盟を方針化している。大阪水労としても、引き続き支援を行っていく事とする。



(次頁に続く)

結 成 宣 言

本日、私たち第一環境大阪営業所労働組合は、労働組合結成の記念すべき第一歩を踏み出しました。

私たちの所属する第一環境大阪営業所は従業員数も多くあらゆる考え方を持つ人がいます。中には、会社の方針に不満を持つ人、業務の進め方に疑問を持つ人、それぞれの立場から意思疎通が難しいと感じている人もいます。

個人レベルで上司に直談判をしても、結果その場しのぎの回答となる事が大半である事はご承知のとおりです。つまり、要求の実現のために個々人ではなく皆で団結して行うことが重要です。こうした事から、「点在する営業所の統一した労働条件の協議」という新しい事態に対し、的確に対応できる労働組合を結成する必要が生じました。

私たちは、第一環境大阪営業所労働組合結成大会を開催し、代議員の活発で真摯な討論の下、闘う方針が決定され、本日、ここに第一環境大阪営業所労働組合を誕生させることができました。

第一環境大阪営業所労働組合は次の方針をめざします。

第一に、労働者だれもが、働くルールに守られ、働く権利が保障され、生き活きと働くことができるように全力を尽くします。

第二に、社員・専門員・パート労働者、雇用形態にかかわらず、だれでも加入できる民主的な組織体制をつくります。

第三に、労使対等の立場で話し合い、互いの将来を見据え、より良い職場づくりを遂行します。

要望の実現は、降って沸いてくるものではありません。また、法律や制度が守ってくれるものでもなく自ら作り出していくものです。私たちの未来は私たちに決定権があるはずです。

第一環境大阪営業所労働組合は、同じ職場で働くものたちがお互いの気持・立場を理解し、思いやりをもって行動できる組織にしていきます。「働く一人ひとりが、仲間としての一体感と日常的な信頼関係を築き上げていく」この思いこそ、労働組合にかける私たちの気持ちです。組合員の皆さんに協力をお願いし、今ここに力強く、第一環境大阪営業所労働組合の結成を宣言します。

2016年4月22日

第一環境大阪営業所労働組合結成大会